



幼児活動研究会は、2020年東京オリンピック成功を願って、女子ラグビー「東京フェニックス」を応援しています

編集発行 ● 幼児活動研究会/日本経営教育研究所
〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-11-17-5F
TEL03-6685-0734(直通) 03-3494-0262(代表)
FAX03-6856-4368
毎月10日発行

CONTENTS

成長発展と安定.....①	これはいぞ！私立園.....⑥
マンネリを打破する.....②	新・歴史と視点.....⑦
One Point Information.....④	縁紡抄.....⑦
妄言独語.....⑤	

成長発展と安定

幼児活動研究会／日本経営教育研究所

所長 八田 哲夫

● 『困難・課題・問題は、成長のチャンス』

組織や人が成長する時。それは、全てが順調な時だけではありません。

むしろ、困難、課題、問題に直面し、時に苦しいと感じる状況の時こそ、成長のチャンスがあるように思えてなりません。

一つの問題が、日本、更には世界各地に大きな影響を与えることがあります。そんな困難、課題、問題が起きた時こそ、明確な目標、目的を持ち、ポジティブな態度で立ち向かっていくことが必要です。ポジティブな思考が、『困難・課題・問題は、成長のチャンス』と捉え、様々な取り組みを実践していくことに繋がります。その実践が、

組織も人も、更なる成長発展を遂げていくと考えます。

● 新しい時代の幕開け

令和二年度の新しい時代への幕開け。東京二〇二〇（東京オリンピック）がまさかの延期です。期待と希望に、ワクワク心躍る輝かしい新しい年のスタートのはずが、日本中、世界中に広まる新型のウイルス。（この影響が何処まで、広がってしまうのか、今はまだ予測出来ません）

しかし、何時の時代も、困難の先には、必ず光と成長があり『困難は成長のチャンス』と言います。こんな状況だからこそ、『困難を成長のチャンス』と捉えるには、どんな視点が必要

なのでしようか。

新しい時代の幕開け、そして、困難・課題・問題を乗り越えるチャンスとして、少しでも参考になれば幸いです。

● 『困難・課題・問題は、成長のチャンス』を実現するには

（一）全職員で心と力を一つにする

トップの掲げる目標達成のために、全職員が心と力を一つにする。

これは日々の実践でも重要なことです。その実践には、それぞれの役割、立場があります。

しかし、困難・課題・問題がある時は、立場や役割を良い意味で飛び越えて、全員でアイデアを出し、全員で全ての子供や保護者、そして困っている仲間を助けていくことが大切です。そして、困難・課題・問題が起きてからではなく、順調に運営出来ている

時に、基盤を作ることが大切です。

トップと職員、全職員が「心と力を一つに」することで、目標達成や、困難を乗り越えると、喜びは掛け算、苦しみ悩みは割り算になります。全員が、心と力を一つに困難を乗り越えた組織は、更なる成長を遂げ、竹に節がつけられように強くしなやかにあります。

（二）新しいことへの挑戦
新しいことへの挑戦は勇気が要ります。特に、順調な時ほど、新しい挑戦や、新しい一歩は踏み出し難いものです。

しかし、逆転の発想で、困難・課題・問題がある時こそ、新しいことに取り組みチャンスだと考えることもできます。

心と力を一つに、目標、目的を再度確認し、全員で新しいアイデアを出し、全員で意見を言い合い、そして全員で新しいことへ挑

戦をしていきます。『失敗』の反対は『成功』ではなく、『何もしないこと』と言われます。子供達も新しいことが大好きです。そして、新しいことへの挑戦が、組織も人も成長への原動力となります。

(三) 現状の見直し

困難・課題・問題があり、新しいことに挑戦する時に、気をつけておきたいこと。それは、同時進行で、現状を改めて見直すことです。今までの仕事に、新しい挑戦を加えていけば、必ず無理が出てしまいます。これまでの方法に、無理や無駄は無い。もっと短時間に来る方法は無いか。新しい挑戦をすることは、より効果的に、効率的にできる方法は無い。現状を見直すチャンスでもあります。大切なことは、現状の見直し、子供達の成長、保護者の満足、職員の幸福へと繋がっていることが大切です。

昨年度末、様々な企業が就職説明会をインターネットによるネット説明会で行なったり、会社に出勤しないでテレワークで実践し業務を行ったり、テレビ会議が広がったりしました。何か、現状を見直すヒントが隠れているかもしれませぬ。

(四) 『仲間が家族』良好な人間関係を築く

全職員で、心と力をもつにし、新しいことへの挑戦、更に現状の見直しを行うには、良好な人間関係が築けているかが問われます。盛和塾の稲盛和夫塾長も、経営で最も大切なことはトップと職員の人間関係だと言っていました。トップと職員が共に助け合い、励まし合い、共に成長し、お互いを喜ばすことに幸福を感じ『仲間が家族』という組織が出来上がれば、どんな状況になっても成長発展を遂げることができると言います。

しかし、これは容易にできることでは無いとも教えて頂きました。お互いが認め合い、尊重し合い、小さな対話を何度も何度も重ね、理解を深め積み上げていくことが大切であると。

人の心は、繋がりが合うと、こんなに強いものは無いと言います。しかし、一度出来たと思っても、崩れる時は脆くも崩れてしまう。だからこそ、常に良好な人間関係を築き続けることが大切であると、何度も教えて頂きました。

令和二年度。先行き不透明なこともたくさんありますが、このピンチをチャンスと捉え、更に成長発展と安定を実現できるように、私たちも心と力をもつに全力を尽くしてまいります。



seminar news お試し版

お読みいただき、ありがとうございます

セミナーニュースは、会員様向けの情報誌です。
年間11回発行し、会員様へお届けしています。
ご入会をご希望の方は、弊社までお気軽にお問い合わせください。

この経営について欲受け... 結論... と、日ヤレンリを防... います私... 間保育... 小の食の... 保育園... 結婚退... 保育の内容は、毎年同じこ

たので、特別指示も出さず、今までの経験で保育をしていました。

返して... 準備を... うに行... える... その当... 同じよ... 思いま... き継ぎ... をして... 士は今... 事も変... ように... に保育... なかつ